

ジェネリック医薬品が無い薬剤は（ ）内に商品名を記載しています。



競合薬が無い薬剤は、本文中に記載しています。

ループ利尿薬	フロセミド、アゾセミド
アンジオテンシン変換酵素 (ACE) 阻害薬	イミダプリル、エナラプリル
アンジオテンシン受容体拮抗薬 (ARB)	ロサルタン、カンデサルタン、バルサルタン、テルミサルタン、オルメサルタン、イルベサルタン、アジルサルタン
ベータ (β) 遮断薬	カルベジロール、ビソプロロール
アルドステロン拮抗薬	スピロラクトン、エプレレノン、エサキセレノン (ミネプロ®)
SGLT2 阻害薬	エンパグリフロジン (ジャディアンス®)、 ダパグリフロジン (フォシーガ®)、カナグリフロジン (カナグル®)、 イブラフリフロジン (スーグラ®)、トホフリフロジン (デベルザ®)、 ルセオグリフロジン (ルセフィ®)

内科・循環器内科・リハビリテーション科

森 医 院

<http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

## 森医院通信

# やまいのはなし

2026年4月号

Pickup!

### レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系 (RAA系)

出血により循環血液量が減少すると、腎臓に流入する血液量も減ります。すると、腎臓からレニンという物質が放出され、これがアンジオテンシン I を生成します。アンジオテンシン I はアンジオテンシン変換酵素の作用により、アンジオテンシン II となります。このアンジオテンシン II が強力な血管収縮作用を示すため、出血による血圧の低下を食い止めます。またアンジオテンシン II は副腎に作用してアルドステロンというホルモン分泌を促進させます。アルドステロンは、腎臓に作用して水とナトリウムの尿への喪失を抑制するため、循環血液量の維持に働きます。これが正常の RAA 系の働きですが、現代では、動脈硬化により腎臓に流入する血液量が減少することにより、この RAA 系が活性化されてしまうことが問題となります。動脈硬化は血圧を上昇させますが、RAA 系の活性化により、さらに血圧上昇が助長されてしまうのです。

#### レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系

